

突撃 サークル紹介

～IAESTE(イアエステ)～

団体名：IAESTE(イアエステ) 連絡先：iaeste-tus@iaeste-tlsc.jp.org
 人数：理科大生 35名 他大生 103名 URL：http://iaeste-tlsc.jp.orh/tlsc
 活動場所：参加大学の教室 部費：半期 2,000円
 活動日：毎週金曜日 一言：様々な人と交流しています。

今回の「突撃！サークル紹介」はIAESTE(イアエステ)さんです。国際交流サークルということは知っていても、具体的にどういう団体なのか知っている人は少ないでしょう。IAESTEは大きく分けて、イアエステを利用して海外に行く日本人学生をサポートする「派遣部門」と日本に研修に来た外国人をサポートする「引受部門」の二つの部門で構成されています。今回は派遣部門総括の東間彩さんと学生代表の遠藤貴之さんにお話を聞きました。



▲派遣部門総括の東間彩さん

☆彩さんにインタビュー

団体の責任者という立場にあるとき、一番苦勞するのは全体をまとめることだろう。ましてや大きな団体の責任者となればその苦勞はかなりの大きなものだ。彩さんは二年生の12月に派遣報告会の責任者を、三年生では派遣部門の責任者を務めている。



▲学生代表の遠藤貴之さん

☆遠藤さんにインタビュー

IAESTEは新入生の部門登録があり、TLSC学生代表の遠藤さんの過去を振り返りながらイアエステの活動を主に紹介する。一年次には新入生が全員参加するサマープログラム(通称サマプロ)と呼ばれる企画がある。これは外国人研修生との交流を目的とする企画であり、ここで多くの人と仲良くなつたという。1月に二年次の夏はサマプロの責任者となり、人とをつなげる役に徹していた。

「イアエステが好きだ」という共通意識を持つていてもその幅が大きすぎる。イアエステのメンバーは、彩さんが少し天然のお母さんといったイメージの人だった。みんなの負担が大きくなりすぎないように配慮し、それでいてみんなが達成感を得られるように役割分担している。集団のトップとしてのあり方には様々な形はあるだろう。

魅力的な人と話すことで自分が成長できることは多い。国際交流に興味がある

彩さんがサークル運営で気をつけていることは、みんなに同じだけ達成感を感じてもらおうということだ。例えばサッカーサークルであれば「サッカーが好きだ」という共通意識のもとに集団が形成されている。しかしイアエステのメンバーは「イアエステが好きだ」という共通意識を持つていて、大きな団体の責任者というとしつかりとした冷たい人を想像しがちである

「イアエステが好きだ」という共通意識を持つていて、大きな団体の責任者というとしつかりとした冷たい人を想像しがちである

アエステのメンバーと一緒に行きたい。色んな理由でイアエステに魅力を感じる人がいるだろう。彩さんのような人と出会えるということもイアエステの魅力の一つではないだろうか。

人、英語を使うことに興味がある人、色々な理由でイアエステに魅力を感じる人がいるだろう。彩さんのような人と出会えるということもイアエステの魅力の一つではないだろうか。



▲毎週金曜日の協議会

お仕事前の紹介

ヨーロッパを中心として始まったイアエスティンターシップは、学部3年生以上の理工農薬系の学生を対象として行なわれている。理系学生の知識の吸収、技術の交換を目的としている。派遣部門の活動は大きく三つある。まず、イアエスティンターシップを知ってもらうための「説明会」、次にインターンシップの利用資格を得るための試験に合格した学生の英語力をさらに向上させるための「派遣準備会」、そして最後に研修から帰ってきた学生たちに集まってもらい研修成果を話してもらうための「研修報告会」等がある。

派遣部門の意識調査

「夏休みのことだから、まだ考えなくても...」インターンシップに対して多くの人がこう思っているのではないだろうか。だが、インターンシップの申し込みを6月で締め切れる企業も多いので、そろそろインターンシップについて知っておくことも大事だろう。今号ではインターンシップ参加者の傾向をまとめたデータを掲載した。実際に参加した人たちの意見が豊富なのでぜひ参考にしてほしい。

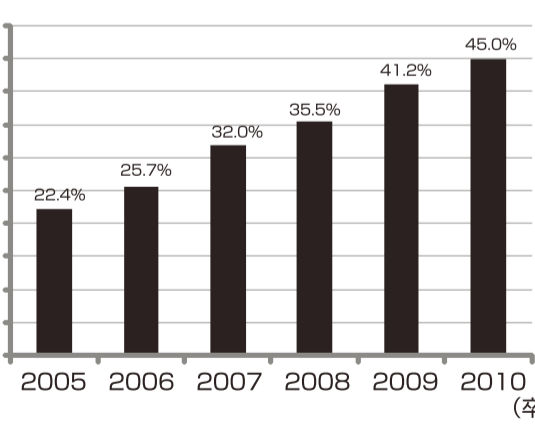
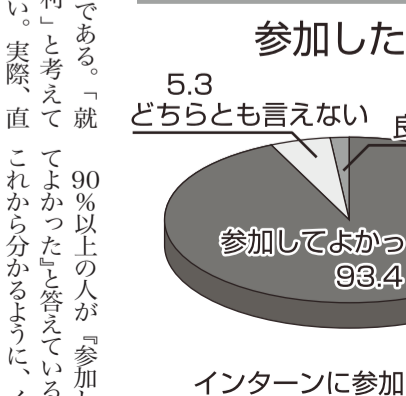


東京理科大学新聞会

東京理科大学新聞会では以下の団体・人物を募集しています。

- 1 連載サークル紹介に載せて欲しい団体
- 2 連載今月の理科大生に載せて欲しい人
- 3 一緒に新聞を作りたい人

- 特定の企業のことをよく知りたいため
- 社会勉強のため
- 自分の専攻が社会で役に立つか知りたいため
- 志望企業や志望業界で働くことを経験したいため
- 自分の力を試すため
- じぶんが何をやりたいのかを見つけるため
- 仕事に対する自分の適性を知りたいため
- 就職活動に有利だと考えたため
- その他



近年、1日だけインターンシップを行う企業が増えている。学生側も気軽に参加でき、企業側としても多くの学生を見られるのが理由だ。逆に長期のものは企業側の負担が大きいため減少傾向にある。